

令和7年度 主催事業 6月20日(金)

学級集団づくりの効果的な手法を求めて

晴天の下、県下各地から小・中学校の先生方、施設職員の方など16名が参加されました。初任者の先生方が多く、みなさんやる気満々で臨まれました。

AFPYや森のチャレンジコースを体験することで子ども目線で存分に楽しみながら、ファシリテーターの視点や考え方を学ぶことができたという声をたくさんいただきました。チームビルディングを体感され、今日の体験や気づきを現場の子どもたちにどう生かそうかと想定しながら、意欲的に取り組まれていたことが本当に素晴らしいと感じました。

ここ十種ヶ峰青少年自然の家でしかできない体験型研修により、初対面とは思えないほど参加者同士のつながりも深まり、ネットワークも広がったようです。



参加者の感想

〇一見難しいと思うことでも、チームのメンバーと協力して、全員でミッションを達成したときに驚きと達成感でいっぱいになりました。とても楽しい時間をありがとうございました。クラスの子もたちもこの気持ちが味わえるように精進したいと思います。

〇生徒の視点になって活動することができた。この感覚を生徒が感じられるファシリテートをしていきたい。

〇様々な場面で、「やってみる」「成功だけでなく失敗にも意味がある」「どうすればよいか」「考え、共有、試す」など自分が気付いたことを、現場でもアプローチしてみたいと思いました。「あ・い・し・た・こ」や「Cゾーン」を覚えておきたい。

〇大学で AFPY について言葉は聞いていたが、今回の研修で意味や目的をしっかりと理解できた。グループで知恵を出し合いながら、いくつもの活動をさせていただいたことで、楽しみながら学びが多くあった一日でした。貴重な体験をありがとうございました。

〇とても楽しく、学びになりました。自然の中での体験活動、最高でした！